

スクランブル



編集・発行：品川区大井第二地区スクランブル編集委員会
大井2-27-20 大井第二地域センター内 TEL(3772)2000 FAX(5709)7627
URL: <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000007700/hpg000007613.htm>

編集委員：青少年対策大井第二地区委員会・山中小学校PTA・大井第一小学校PTA・伊藤学園PTA・伊藤中学校OG

品川区区内で活躍する音楽サークル

大井地区をはじめとする品川区には音楽愛好家の集うサークルが多数あります。今回は、区内で活動する4つの音楽サークルを紹介いたします。

40年以上の歴史を誇る

品川混声合唱団

大井第一小学校を練習場所としている品川混声合唱団の創立は昭和42年。練習は毎週木曜日(19時)で月1回の日曜練習も行っていきます。

団員の数は38名で男女の比率は女性の方が若十多いとのこと。30〜70代まで多様な年齢層の男女が練習に励んでいます。



練習の成果を披露する場合は年に2度の品川区合唱祭と2年に1回の定期演奏会で、演奏会ごとに演目は全て変えるのを基本にしています。ミサ曲から童謡、ポピュラーなど幅広いレパートリーを持っていきます。

日曜練習は、午後丸々を使って実施(男性グループは午前中も練習)

習い。まず30分は音合わせを入念に行なうことからパートごとに練習、そして最後に全体練習を行ないます。

「ひたすら新しい歌にチャレンジし、歌いこなすことを目指しています。ちょうど新しい歌をやりたいところなので入会するならば今が良いタイミングですよ。同合唱団の小川隆史さん。オーディションなどは一切なく気軽に練習の見学にどうぞとのことでした。

女性特有の優しい響きを

コーロフィオレンテ

女性の三部合唱で構成されるコーロフィオレンテの練習拠点は山中小。月2回、土曜日の午前中に約20名のメンバーが集います。発表の場はやはり半年に1度の品川合唱祭で、さらに今年は12月に設立25周年記念コンサートを開催する予定になっています。

このサークルを20年以上にわたって指導しているソプラノ歌手



小林加代子さんによると、「女性

性ならではの優しく温かい響きを大切にしながら言葉の美しさを引き出せば」をモットーにしているとのこと。実際に練習の場でも言葉の響かせ方について細かく指導する光景が見られました。

「入会希望は大歓迎です。皆さんには日頃から実年齢より10歳若い声を出そうと言っています。実際にそれを実現している人は多いです(小林さん)」

精力的に区内で演奏活動

品川区民吹奏楽部

正式に設立したのが平成20年3月と歴史は新しいものの、ほぼ月1回のペースで区内イベント等において演奏活動を行なっているのが品川区民吹奏楽部です。

品川区中小企業センターの地下1階音楽室で週末に行なわれる練習は月に3〜5度。団員数は約60名。練習では、パートごとに音合わせをした上で丁寧に音階練習を繰り返していましたが、その合間には



ジョークも交えた音楽談義にも花が咲く、とても楽しそうな雰囲気でした。

5月3日には2回目の定期演奏会がきゅりあんで開催されます(入場無料)。演目は、クラシッ

ク、日本の曲、ポップスと多彩で、家族で楽しめそうなプログラムです。

品川在住・在勤の演奏家で

品川クラシック音楽協会

平成5年3月に設立された品川クラシック音楽協会は、品川区在住・在勤の演奏家の団体です。毎回新たに設けたテーマに沿って

選曲する自主公演、ファンタジーコンサート、幼稚園・学校などで演奏するスクールコンサート、さらには毎月第3日曜の午後には中小企業センターで開催する日曜コンサートなど、プロの音楽家達によるポランティア精神に溢れた活動が特徴になっています。特に無料で毎月行な



っている日曜コンサートは若手演奏家の皆さんの熱演を楽しむことができ、音楽好きの区民なら一度は覗きに行きたい行事です。

「地域に音楽を広めよう」という思いから設立され、聴衆の皆様と共に楽しめる手作りの演奏会を目指し、区内を中心に活動しています。会長の原利江子さん。協会では活動趣旨に賛同してくれる演奏家(音楽大学卒業程度の実力が必要)と賛助会員(年会費一口二千元)を募集しています。【福島・吉崎】

発見! まちのグルメ

* おせんべい屋さん *

三間道路、西大井、横須賀線のガードをくぐり、大井町方面へ少し行った辺り。昔ながらの店構え、ショーケースにおせんべいが並べられているのが目をひきます。大正9年、先代であるご主人のお父さんが始められ、90年近くも続くおせんべい屋です。



おせんべいはうるち米、おかき・あられはもち米でできています。米を粉にして乾燥させ、焼く工程はシンプルですが、それだけに原材料にもこだわっているとのこと。

堅焼大丸・草加大丸・胡麻大丸など、今も店の奥で1枚1枚心を込めて焼いています。1口かじれば、しっかりとした歯応え、噛むほどに香ばしさが広がります。昔どおりのなつかしい味です。他にも、ねぎみそ味、うに味、にんにく味、のり京角、おこげなどなど、バライティに富んだおせんべい・おかきがズラリ。

希望すれば、地方発送もして下さるそうです。店内を見渡すと、品評会での賞状や楯が並んでいます。ご主人の手焼きの確かさを知り、90年の歴史を感じさせられました。【岡本】



そうだ、公園へ行こう。

= コドモ達・オトナ達に捧ぐ、身近な癒スポット、公園の魅力再発見レポート =

倉田公園 <大井4-29-23>

大井第一小近くにある幼児向け遊具中心の公園で、3本のケヤキが公園のシンボル。



「今回は知る人ぞ知る!? 倉田公園! M意外と知られていないけれど、遊具が充実しているよ!」
 「結構昔ながらの遊具があつて、テンション上がったね」
 「すべり台・鉄棒・砂場...特に珍しいと思つたのが、シーソー!」
 「Mシーソーは数人でやつたら盛り上がることも面白いナシ!」
 「T大人になつてから乗るとめっちゃ怖かつたけどネ(笑)」
 「Mケヤキだけじゃなく桜の木もあつて、春は見ごたえあるよ!」
 「Tあまり人もいないから意外と穴場かも!」
 「道路のそばにあるから飛び出しに気をつけて遊んでね」
 【五十嵐・上田】

蝶の道 プロジェクト ~蝶の食草園づくり~

区内には蝶のレストランがあるのをご存知ですか? 品川区水とみどりの課みどりの係と、中心に活動されているボランティアの方にお話を伺いました。

蝶の道プロジェクト

始まりは林試の森でルリタテハ勝島運河辺りでジャコウアゲハなど、区内では珍しい蝶を偶然見つけたこと。蝶の道プロジェクトでは小動物と共生できる自然環境作りをめざして、蝶の飛ぶ道筋(蝶の道)に蝶のレストラン(食草園)を作っているそうです。小学校や児童センター、地域の方々に協力して頂いて、この3年間で41エリア76箇所、区内全体に広がっています。

第一地区周辺の取り組み

大井第一小、山中小、滝王子及び倉田児童センター、ニツ又商店街、地域内のマンションなど、区域中に飛び廻れる程に広がっています。道沿いのプランターや花壇が蝶のレストランだったんですね。昨年9月10日の調査では、山中小に11種57匹の蝶がいたのが確認できたそうです。



マンションでは住民がボランティアとなって花壇のお手入れ

ておくこと。もちろん幼虫も取りません。いつも満開とはいかないけれど、眺めるだけの花壇より自然かもしれません。

蝶のメニュー

モンシロチョウはナスタチウムや葉ボタン、キャベツ。ナミアゲハはみかん。ツマグロヒョウモンはスミレやパンジー...。蝶の種類に依って幼虫が食べる植物が決まっています。他のは食べないですって!意外にグルメですね。



子供達が植えたパンジー (滝王子児童センター)



ミニレストラン?

マンションでもプランターのミニレストランができます。10階のベランダでもさなぎがかえったとか! ナスタチウム、みかん、パンジーが初心者にお勧めです。

*** **

ひと昔前より蝶を見かける事が多くなった気がしていたけれど、気のせいじゃなかったんですね。ひらひらと蝶が舞う景色はどこかのどかで、心がなごみます。春が来るのが楽しみです。【嶋村・瀬下】

問合せ: 品川区水とみどりの課みどりの係
 電話: 5742-6799
 URL: <http://shinagawa-eco.jp/butterfly/>